

令和 3 年度

学校関係者評価書



高千穂町立高千穂中学校
(最終まとめ)

(1) アンケートは、7月と1月に実施。上段の数値は4段階評価の平均点、下段の数値は肯定意見（4段階評価のうち、4または3を回答）をした割合。

(2) 自己評価については、次のとおり。

4：肯定意見80%以上	「目標を十分に達成した」
3：肯定意見60%以上80%未満	「目標を達成した」
2：肯定意見40%以上60%未満	「目標を下回った」
1：肯定意見40%未満	「目標を大きく下回った」

取組	アンケート				学校関係者評価委員コメント
確かな学力の定着 確かな学力の定着	1 「分かった、できた」と感じる授業を行い、学力の向上を図る。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3. 1 87%	(1月) 3. 1 86%	(年間) 3. 1 87%	★＜評価委員コメント＞ ・ 単に成績を上げる為だけの勉強ではなく、方向性・目的を持たせる手法が素晴らしいと思う。 ・ 授業に集中しているように見えました。 ・ 各クラスの授業を見ていると先生方の工夫がいたる所に見られ、研究授業の成果が出ていると思います。生徒達の授業態度も良かったと思います。 ・ 教材を手作りするなど教科担任の工夫で生徒たちの学習への興味を持たせ授業の内容に集中できている様子がうかがえました。分析結果の通りだと思います。 ・ 授業を参観して評価の高さに納得しました。 ・ 研究授業を実施されて、学校側の教育に関しては、お陰様で生徒たちも興味をもって集中できている様子なので安心しました。授業及び学校内のことは全て先生方をお願いするのみです。 ・ 体験談として私（74歳）が中1か2の時、社会の先生が面接と称して歴史の教科書にそって問題を作り100問を自分で予習して覚えて、先生の所で合格すれば次の番号を覚えて皆が競争となり、あのときの歴史は今でも懐かしく思い起こされる。
	今後の方策	○ 今後も全教員による研究授業を継続していく。 ○ 自分から進んで聞きにいき、それにしっかり応える人間関係をつくり、「協働的な学び」を実現する。そのために、グループ学習の機会を増やし、生徒たちの学習状況をしっかり観ながら授業を進めていく。			
	分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。授業力を高めることを目的とした研究授業の実施は、本年度で5年目であるが、この成果が現れているのではないかと。また、学びに向かう集団づくりができていないのではないかと。			
	自己評価	4	委員評価	★ 4	
	2 家庭での学習習慣を身に付けさせる。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 2. 7 65%	(1月) 2. 8 61%	(年間) 2. 7 63%	★＜評価委員コメント＞ ・ テレビゲーム、スマホの世の中でいかに家庭学習の大事さや必要性を本人が自覚するかであると思うが、教科のおもしろさを生徒が感じられる方法を与えることも必要ではないかと思う。 ・ 各家庭で話し合い時間を決めてから学習を行うようにする。 ・ 家庭学習は保護者が関係してくるので難しいところもありますが、楽しく学習できる方法があれば良いのかと思います。 ・ 家庭学習や宿題等を先に片付ければある程度の時間はスマホやテレビゲームを出来るという約束事として徹底し習慣化すればいいと思う。これからはスマホやテレビゲームが無いとは考えられないので上手く時間を使う事も覚えなないと思います。 ・ 家庭学習は難しいですね。保護者がどう子供と向きあっていくかでしょうか。親子の信頼関係を深めていけたら必ず良い結果が出ると思います。 ・ 昨年度からコロナ禍で勉強に身が入らないのは仕方のないことですが、自分のためだと頭に入れ、できる限りの自宅学習は必要だと思います。これを機に「読書」に代えてみるのも良いかもしれません。目についた本を是非参考のために!!「知識」は必ず「ピンチ」を救う…。
	今後の方策	○ 家庭学習をしなければならないという生徒への意識づけを各教科だけでなく、学活等の進路学習を使って行う。 ○ 小学校との連携をとり、家庭学習習慣を身に付けさせる。			
	分析結果	目標を達成した 目標は達成したが、平均評価2.7、肯定意見63%とあまり高くなかった。保護者の肯定評価が7月58%、1月54%と低いので、家庭学習の実態は、よくないと思われる。			
	自己評価	3	委員評価	★ 3	

豊かな心の醸成

取組	アンケート				学校関係者評価委員コメント
	3 いじめをしない、させない、見逃さない指導をする。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3. 2 91%	(1月) 3. 3 89%	(年間) 3. 3 90%	★＜評価委員コメント＞ ・ 生徒会が行っている「人の良いところを発見する」は非常にいい取組だと思う。人間は苦しみを受けて強く大きくなるものではあるが、他人を苦しめる事は、人生の中で自分が同じような目に必ず受ける事になることを知るべきである。 ・ 自宅でもいじめに対して保護者からも良し悪しを明確にする話し合いの場を設ける。 ・ いじめは自分が気づかないうちに加害者・被害者になることがあるので、自分がいじめている認識がない子もいたり、いじめられやすい子もいたりすると思うので難しいですが、早速発見が大切だと思います。 ・ 自分では冗談やふざけのつもりでも、された相手にとって不快となればやってはいけない事だとしてしっかり認識させる事が重要だと思います。相手の立場を自分のことだと受け止める思いやりの心を養うことが必要です。 ・ 生徒はまだ子供です。いろんな事があるでしょうが、「今後の方策」の通り頑張ってもらいたい ・ 友だち同士仲良く笑い合っている姿を第三者から見ていると、とても「微笑ましい」ことなのに、どこから「いじめ」という言葉が出てくるのか不思議でならない。いじめは、一生ついていきます。今覚めてほしい！
	今後の方策	○ 「いじめは絶対許されない」ということを機会がある度に、生徒や保護者に啓発する。 ○ 毎月の「いじめアンケート」や教育相談等を用いて、いじめの早期発見・早期対応を行う。			
	分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。生徒の肯定評価が、84% (7月) → 86% (1月) が2ポイント上がっているのので、学級内の人間関係は良好だと思われる。			
	自己評価	4	委員評価	★ 4	
	4 集団の一員として、挨拶ができ、相手の立場を考えて行動できるように指導する。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3. 3 94%	(1月) 3. 4 94%	(年間) 3. 3 94%	★＜評価委員コメント＞ ・ 小学生と違い、中・高校生はとても挨拶出来ている。これは中学校の指導のたまものと思っている。この小さな挨拶は大きな人間関係を良くしている。先生方に感謝です。 ・ 学校内は活気があり、より挨拶をするのですが、外ではたまに音量が下がって聞き取れないこともある ・ 生徒指導の成果が出ていると思います。 ・ 学校訪問の際に生徒や職員の皆さんから立ち止まっただけの挨拶を受けるのは気持ちのいいことです。生徒同士や親・兄弟等でも挨拶を普通に出来ればその集団の一員だと自覚出来るし、相手を尊敬することにもなると思います。 ・ 家庭での挨拶・学校での挨拶、一番大切なことと思います。学校の登下校では良く挨拶していて素晴らしい。 ・ 我々町民にでも気持ちよく挨拶してくれます。とても嬉しい気持ちです。良いことは、続けていってほしいと思います。「継続は力なり」です。
	今後の方策	○ 授業はもちろん、全ての教育活動の中で、協働的な学びを増やし、協力して活動に取り組ませる。その中で、相手の立場を考えることの大切さを体験的に学ばせる。			
	分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。昨年度のアンケートの結果（評定3.2、肯定93%）と比べると、若干上がっているのので、人間関係づくりは上手にできるようになってきたのではないかな。			
	自己評価	4	委員評価	★ 4	

健やかな体の育成

取組	アンケート				学校関係者評価委員コメント
5 朝ご飯を毎日食べ、体育の授業や部活動などを通して体力の向上を図る。					
(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3. 5 92%	(1月) 3. 4 90%	(年間) 3. 4 91%	★＜評価委員コメント＞ ・ 中学生だった頃を思い起こしてみると、授業に集中していたとき体は動かさなくても脳細胞を使う事によりものすごく腹が減った事を思い出します。朝食を抜いたら身体はもたない事を生徒は知っていると思う。朝食をきっちり摂って成績アップ！ ・ 朝食を食べないと生活のリズムが狂い、学習等にも影響があるので、家族で意識付けが重要。 ・ どうしても朝は睡眠を優先しがちですが、早起きして朝ご飯を食べると気持ちにも余裕が生まれると思います。 ・ 育ち盛りの頃の朝食は、身体にも脳にも大変重要だと思います。しっかり食べる事の大切さを教えていただきたい。 ・ 朝ご飯は親子が顔を合わせる大切な時間です。今後も指導をお願いします。 ・ 朝ご飯は一日の始まり。今日の日課です。朝ご飯がなければ、体育や部活動は成り立ちません。家族がまとまる時間、家族が楽しい時間、家族が笑顔で始まる時間が、朝ご飯です。家族が一つになる時間です。	
今後の方策	○ 保健だよりや食育だよりを活用して、朝ご飯の大切さや体力の向上について啓発を続けていく。 ○ 給食指導時に残食をなるべくしない指導していく。 ○ キャプテン会を通じて、部活動への取組について共通理解する。				
分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。しかし、昨年度のアンケート結果（評価3.8・肯定95%）と比べて低い値であった。上記の対策を通して、改善していきたい。				
自己評価	4	委員評価	★ 4		
6 自分の身は自分で守るという自己管理意識を持たせる。					
(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3. 4 92%	(1月) 3. 3 90%	(年間) 3. 3 93%	★＜評価委員コメント＞ ・ 交差点で車を運転していて左折・右折の時、横断者がいて「ハッ」とした事があり、特に気をつけている。生徒の皆さんは車を100%信用しないで自転車も歩行者も気をつけてほしい。 ・ 日頃から話はしていますが、登下校時の周囲の確認や報告をして意識を持つように!! ・ 学校周辺や地域の人に見守ってもらえるような環境づくりも大切なのかと思う。 ・ 地震・台風と自然災害はいつ起きるかは誰にも分かりません。とっさの時に、自分の身を守るための落ち着いた行動がとれるよう指導をお願いします。 ・ 今後いろいろな事を想定して、ご指導いただくとありがたいです。 ・ 家族でも学校でも、今のうちに徹底して教えるべきです。大人でも子どもでも、この時代は何があるか分かりません。自分の身は自分で守れるように、教育しておくべきだと思います。いざとなったら、まずは我が身が大事です。	
今後の方策	○ 職員による通学路点検や保護者からの通学路情報を通して、機会がある度に、登下校を含め身近なところに危険が潜んでいることを啓発していく。 ○ 避難訓練等を通して意識づけしていく。				
分析結果	目標を十分に達成した 目標を十分に達成した。日々の指導の成果が現れているのではないかな。				
自己評価	4	委員評価	★ 4		

取組	アンケート				学校関係者評価委員コメント
キャリア教育の推進	7 地域の人材を活かした学習の場を設ける。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 3.0 75%	(1月) 2.8 70%	(年間) 2.9 73%	★＜評価委員コメント＞ <ul style="list-style-type: none">地域学習で嫁が棒術を教えており、現在はコロナ感染予防のため何年か休んでいるが、今まで3年間で自然と覚えていた技が無くなってしまい、これからが心配だと言っていた。コロナの影響により場を設けるのが難しいので、工夫をして続けていきたい！コロナ禍での制約が緩和され、活動できて良かったです。来年度は例年通りの取組が出来る事を期待します。地域の伝統的な行動や芸能を次世代へ伝えていく事は、町おこしや地域おこしそのものですが、コロナの対応が楽になったときに、地域の人材を活用した活動を再開していただきたい。コロナ禍で難しいでしょうが良い授業と思うので、できるだけお願いします。毎年、よく目にする職場体験学習は、第三者側としても大いに続けていってほしい行事だと思います。卒業後、仕事に就いた時の力になり、本人のためでもあります。仕事上の大変さを現在の生徒たちに身に付ける体験だと「人生はあまくない」ということを感じさせるためにも必要ではないでしょうか。
	今後の方策	○ コロナ禍でも可能なところで地域の人材を活かした学習を取り入れる。 ○ 地域の人材を活かした学習の場を取り入れていることを学校ホームページや学校だよりを通じて生徒や保護者に啓発していく。			
	分析結果	目標を達成した 目標を達成した。昨年度のアンケートの結果（評価2.9・肯定71%）と比べ、若干上がっている。本年度がコロナ禍での制約が緩和し、地域の人材を活用した取組が増えていったためと考えられる。			
	自己評価	3	委員評価	★ 3	
	8 地域の行事に参加し、地域のよさを知るよう指導をしている。				
	(時期) 評価 肯定割合	(7月) 2.8 70%	(1月) 2.8 70%	(年間) 2.9 69%	★＜評価委員コメント＞ <ul style="list-style-type: none">地域の行事に参加することはとても大事な事であるといえる。地域も活気づき生徒も地域に受け継がれたものを知り、それを身につけて地域の愛が生まれそれが地域の大きな発展につながると思う。地域の活動行事等に参加することは良い行いだと思います。地域の良さを知ることは良いことだと思う。行事が中止されるのは仕方ないので来年度に期待します。コロナの影響が2年以上続いている事は、地域と学校・生徒を結ぶ活動に大変なマイナスだと思います。少しでも早くコロナの収束を願うばかりです。コロナ禍で仕方がないですね。それぞれの地域の人達との交流は、とても大事、良い教育だと思います。「芸は身を助ける」昔からの言葉で、何か得意な物があれば一生その仕事で生きていけます。特技、興味を示す「神楽」「笛」「太鼓」など、先々地元で後見してくれる若者ができてくれるのは、大いにありがたいことです。素晴らしい指導は、どんどん習うべきです。やりたいことが出来たらなら挑戦するのみ。
	今後の方策	○ コロナ対策をしながら実施可能な地域学習の在り方を検討して、実施していく。			
	分析結果	目標を達成した 目標を達成した。しかし、コロナ禍で地域の行事が中止・縮小されたためか、平均評価・肯定意見ともにやや低めであった。			
	自己評価	3	委員評価	★ 3	